

2008年12月4日

各 位

盗聴・盗撮対策の画期的な新システムを開発

特定非営利活動法人
日本情報安全管理協会

様々な犯罪が横行している現代、警察等だけに頼るのではなく、「自分の身は自分で守る」、自己防衛する時代が到来している。このような現状、弊協会では大手引越会社のサービスで、盗聴・盗撮対策として、探査サービスを行っている。

しかし、一人暮らしの女性等は、盗聴・盗撮について不安はあるが、探査を実施する為とはいえ、「自宅に人を入れたくない」、「生活空間を見られたくない」という声が多い（アンケートによる）。従って、このたび発表する新サービスは、このような女性の声を反映し、我々が日常、健康状態を診る為の予備検診をするのと同じように、ちょっとした不安を解消する為に、弊協会とFOR-S株式会社により共同開発された、インターネットを使用した遠隔検診で、安心をお届けするサービスとなっている。

従来の探査員を派遣するサービスとは異なり、探査用ロボットを郵送し遠隔で探査を実施する為、家の中に人を入れることなく不安を解消することができる。ロボットは、企業や施設で導入されている、信頼できるロボットであり、操作は電源を入れるだけでロボットが探査を実施する。機械が苦手な女性でも簡単に扱うことができるのが特長である。

従って、このサービスは個人・企業共々、「ちょっとした不安」を解消できる画期的なサービスであると信じるものである。

尚、今後は弊協会では、一貫した対策をJILCoMメソッドとして下図の如く推奨する。

弊協会では日常点検の為の商品を、大手精密機器メーカー（リズム時計工業株式会社）と共同開発し、弊協会認証の誰でも点検できる商品として2008年12月中旬から発売を予定している。

JILCoMメソッド概略図

